別記様式第9号

国内産糖自然災害影響緩和対策事業に関する事業評価票

		len Marte					成果目標の達成状況				具体的な取組内容	基金管理団体の意見
事	名	都道府 県名 地区名	事業実施 主体名	対象作 物等	事業実施 年度	成果目標の 具体的な内容	基準年 (計画策定時) 平成27年	目標年 平成28年	実績値 令和4年	達成率		
国内然 影響 対策	災害 鹿 安和 中	児島県 種子町	新光糖業株式会社	世に糖	平成27年	産糖量を平年水準の18,405トン まで増加	13, 607t	18, 405t	16,044t	50. 8%	・原本性に発動性 ・ 清浄政備 ・ 結晶設備 ・ 分蜜設備 ・ ボイラー設備 ・ ポイラー設備 ・ ポイラー (表現) ・ ボイラー (表現) ・ ボルッ (表現) ・ ボルッ (表現) ・ (表	令和4年産のさとうきびは、単収が6,631kg/10aと基準年(4,986kg/10a)を上回ったものの、収穫面積が2,337haと基準年(2,513ha)を下回った。また、生育後半の強い寒波により葉の裂傷被害が起こり、品質の上昇が見られなかった。以上のことから、目標を達成しなかった。成果目標達成のため、優良種苗の供給の取り組みを継続・強化し、収穫面積の確保を図るとともに、適期管理の徹底により、単収向上を図る取組を実施していく必要がある。